

2013年4月吉日

## 2013年度統計関連学会連合大会について（第二報）

2013年度統計関連学会連合大会

運営委員会委員長 佐藤美佳（筑波大学）  
実行委員会委員長 大屋幸輔（大阪大学）  
プログラム委員会委員長 栗原考次（岡山大学）

今回で12回目になる2013年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会も統計関連学会連合に属する全ての学会の共催により開催する運びとなりました。大阪府北部にある待兼山とよばれる丘陵に位置する大阪大学豊中キャンパスが大会会場となっております。本大会の第1日目（9月8日（日））はチュートリアルセッションと市民講演会を開催いたします。一般講演などは2日目以降（9月9～11日）に開催します。懇親会は、豊中キャンパス内のレストランを会場として予定しております。

この第二報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2013/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

### 1. 大会日程、開催場所、各種受付期間

開催日程：9月 8日（日）から11日（水）までの4日間

9月 8日：チュートリアルセッションと市民講演会（大阪大学豊中キャンパス）

9月 9日～11日：本大会（大阪大学豊中キャンパス）

共催：応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会，日本行動計量学会，  
日本統計学会，日本分類学会

懇親会：9月10日（火）18:00～（予定）豊中キャンパス内のレストランを会場として予定

講演申込：5月 8日（水）9:00～6月 5日（水）17:00

原稿提出：6月11日（火）9:00～7月 9日（火）17:00

事前参加申込：7月18日（木）9:00～8月20日（火）17:00

## 2. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込み方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項がありますので、ご注意ください。

### (1) すべての講演に共通な事項

講演をご希望の方は、上記ウェブページからお申込み下さい。これ以外の申込み方法はありません。ウェブページ上で、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択して下さい。原則として、講演者が申込んで下さい。ただし、「企画セッション講演」については、オーガナイザーが申込んでください。

### (2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申込み下さい。ウェブページ上の講演申込み手順にしたがって申込みをして下さい。プログラム編成の際の参考にしますので、最大3個までのキーワードを、重視する順にご選択ください。また、講演者（連名講演者を含む）のうち、少なくとも1名は共催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

### (3) 「企画セッション講演」に関わる事項

各セッションのオーガナイザーが、セッション内の講演全件を申込みください。

### (4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画で、今回で11回目を迎えます。参加資格は、以下のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2013年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生をふくむ）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方で、講演の申込時点で共催6学会のいずれかの会員である必要があります（ただし、申込と同時に入会手続きする方もふくみます）。審査は、数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者3名程度を選考します。コンペセッションは9月9日・9月10日に開催し、9月10日の夕刻の懇親会において表彰式を行う予定です。

## 3. 講演報告集用原稿の提出

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル（PDF形式）を提出していただきます。「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照の上、原稿提出期間を厳守してください。ご希望の方は、報告集用原稿とは別に、ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます（A4

サイズ, 最大 10 ページまで, PDF 形式, ファイルサイズは 1MB 以内, フォント埋め込み). 論文ファイルをメールによりプログラム委員会宛

submission2013@jfssa.jp

にお送り下さい. 報告集用原稿および詳細論文の執筆要領につきましては, 連合大会ウェブページ (<http://www.jfssa.jp/taikai/2013/>) をご覧下さい.

「企画セッション講演」の報告集用原稿はオーガナイザーが集約してご提出下さい. したがいまして, 企画セッション講演者は, 最終的な原稿提出が締切に間に合いますようにオーガナイザーに原稿をお送り下さい.

講演報告集は大会当日にお渡しします.

【注意】報告集は, 本大会ウェブページにて期間限定で公開予定です. 公開を希望しない場合には, 報告集用原稿の提出時に, その旨をご指示ください.

#### 4. 企画セッションのご案内

学会や個人から申請のあった 17 件の企画セッションが予定されております. テーマとオーガナイザーの氏名, 所属は以下の通りです. テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどにつきましては連合大会の Web ページをご覧下さい.

なお, 企画セッションの運営はオーガナイザーに一任しておりますので, 企画セッションについてのご質問がございましたら, 直接オーガナイザーにお問い合わせ下さいませようお願い致します. 企画セッションの日程はプログラム作成時に決定致します.

企画セッション名とオーガナイザー (敬称略)

- 1) 日本分類学会シンポジウム: クラスタリング研究の新展開 足立浩平 (大阪大学)
- 2) 日本計量生物学会シンポジウム: 医学分野における統計教育のあり方 松山裕 (東京大学)
- 3) 日本計量生物学会 奨励賞受賞者講演 手良向聡 (金沢大学)
- 4) 日本統計学会 会長講演 岩崎学 (成蹊大学)
- 5) 日本統計学会 各賞受賞者記念講演 岩崎学 (成蹊大学)
- 6) 応用統計学会 学会賞受賞者講演 大西俊郎 (九州大学) ・黒木学 (統計数理研究所)
- 7) 日本計算機統計学会 企画セッション: 計算機統計学からのゲノムデータ解析 富田誠 (東京医科歯科大学)
- 8) 確率微分方程式モデルの金融・保険数理統計 内田雅之 (大阪大学)
- 9) 確率過程と計算統計 吉田朋広 (東京大学)
- 10) 時間・空間・時空間における事象系列研究の新展開 庄建倉 (統計数理研究所)
- 11) スポーツ統計と統計科学の融合 竹内光悦 (実践女子大学) ・酒折文武 (中央大学)
- 12) ソフトウェアセッション (デモセッション) 竹田裕一 (神奈川工科大学)
- 13) 福島第一原発事故被害地域における疫学データの調査・解析・オープン化 古谷知之 (慶應義塾大学)

- 14) ベイズ的アプローチが役に立った実践例 繁樹算男 (帝京大学)
- 15) 統計教育における高大連携 藤井良宜 (宮崎大学)・牧下英世 (芝浦工業大学)
- 16) 統計関連学科・統計科学専攻設置に関する国内外の動向 山口和範 (統計教育大学間連携ネットワーク・立教大学)
- 17) 大学における統計教育の課題と標準カリキュラム策定に向けて 中西寛子 (統計教育大学間連携ネットワークカリキュラム策定委員会委員長)

## 5. チュートリアルセッションのご案内

下記の2つのテーマでチュートリアルセッションを開催いたします。2つの会場で並行して開催しますので、どちらかをお選びください。参加費については「7. 参加申込と大会参加費」をご覧ください。

日時：2013年9月8日(日)13:00～16:00

場所：大阪大学豊中キャンパス

テーマA：統計的グラフィカルモデルの展開

講演者：原 尚幸 先生 (新潟大学)

時間：13:00～16:00 (3時間)

開催趣旨：このセミナーでは、近年標準的な統計手法となりつつあるグラフィカルモデルにおける統計的推測問題の基本的な事柄を解説するとともに、近年の展開を概観する。グラフィカルモデルは、統計学、機械学習、人工知能などの異なるバックグラウンドで発展してきたモデルであり、さまざまな側面を持つ。本セミナーでは、主として統計学・多変量解析の視点に立ち、グラフィカルモデルの推測問題を考察していく。まず前半部では、Lauritzen (1996) の教科書にしたがって、最も基本的なモデルである無向グラフのグラフィカルモデルを導入し、その分布理論、推測理論、最尤推定量の計算アルゴリズムなどに関連する話題について、関連するグラフ理論も含めて解説をおこなう。後半部では、無向グラフのモデルから有向グラフのモデル、chain graphのモデルなどへ一般化や、計算代数統計学、高次元統計学などとの接点など、近年におけるグラフィカルモデル研究の展開をいくつか紹介する。

テーマB：「ビッグデータと統計解析」

講演者：水田 正弘 先生 (北海道大学)、南 弘征 先生 (北海道大学)

時間：13:00～16:00 (3時間)

開催趣旨：本チュートリアルでは、近年、注目されているビッグデータに関する状況を概観するとともに、ビッグデータの活用には有効な統計的手法について紹介する。ビッグデータは、単に「大きなデータ」ではなく、「従来のデータベースシステムの処理能力を超えたデータで、とても大きく、すばやく変化し、通常のデータベースのフレームに合わないデータ」と位置づけることが多い。センサー技術やストレージ技術をはじめとする情報技術の発展によりビッグデータを活用できる時代となり、ビジネスをはじめとする多くの分野で、実際的な成果が得られている。しかし、統計学の立場から考えると単純な手法しか利用されていないことが多

い。せっかく収集したビッグデータから価値のある情報を導き、適切な判断を下すには、統計学の分野で成熟した経験や技術が有効である。本テーマでは、前半で、ビッグデータの定義と現状について紹介する。後半では、実際のシステムやツールについて述べる。ビッグデータはバズワード(buzzword: 説得力のある言葉のように見えて、実は定義や意味があいまいなキーワード)であり、用語としては消えてゆくかもしれない。しかし、統計科学においてビッグデータ(といわれているデータ)の解析の意義は変わらないことを強調したい。

## 6. 市民講演会のご案内

下記の2つのテーマで市民講演会を開催いたします。参加費は無料です。

日時：2013年9月8日(日) 16:30~18:00

場所：大阪大学豊中キャンパス

テーマ1：保健統計データの見方ー健康で長寿な社会をめざす統計ー

講演者：村上 義孝 先生(滋賀医科大学)

時間：16:30~17:15(45分)

概要：国や自治体が実施する保健・医療・福祉分野の様々な施策や活動は、保健統計とよばれるさまざまな統計調査の結果に基づいて計画・実施・評価されています。保健統計の活用例としては、平均寿命や出生率をはじめとして毎年のようにマスコミ報道されるものや、メタボリック・シンドロームの割合など最近話題にのぼっているものがあります。保健統計を正しく理解することは、わが国の健康課題や保健・医療福祉分野の施策や各種活動状況を理解する上でとても重要なことなのです。

今回の市民講演会を通じ、みなさんが健康で長生きできる社会を目指して保健統計がどのように活躍しているか、保健統計から得られたデータをどう読むか、どう日々の生活に役立てられているか、などについてお話したいと思います。主な内容としては、平均寿命・健康寿命について、喫煙・肥満などの病気の原因となるものの年次変化、保健統計にまつわるエピソードなどをお伝えしたいと思っています。

テーマ2：統計教育大学間連携ネットワークが目指すビッグデータ時代の人材育成

講演者：美添 泰人 先生(青山学院大学)

時間：17:15~18:00(45分)

概要：統計教育大学間連携ネットワークは、文部科学省の事業の一環として採択され、8大学、統計関連学会連合に参加する6学会と、6団体が協力して実施する活動の場として設立した組織です。今後の我が国のイノベーションを推進するには、新たな課題を自ら発見し、データに基づく数量的な思考による課題解決の能力を有する人材が不可欠です。そのような「統計的なものの見方と統計分析の能力」は文系理系を問わず必要とされることから、海外では大学において組織的な統計教育のもとに人材を育成しています。国際競争力の観点からも、我が国でも大学における体系的な統計教育の一層の充実が喫緊の課題です。

このような背景の中で「ビッグデータ時代の人材育成」と取り組むために、私たちは、課題解決型人材育成のための標準的なカリキュラムと教授法を整備し、学習達成度を客観的に評価するために「統計検定」の仕組みを利用することによって、統計教育の質保証制度を確立することを目指しています。

本講演では、この取組の概要と初年度の活動内容を紹介し、合わせて海外において統計教育という課題とどのように取り組んでいるかをお話します。

## 7. 参加申込と大会参加費

当日受付の混雑を緩和するため、ウェブページからの事前申込にご協力ください。受付期間については「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前申し込みの場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

### 大会参加費（報告集代を含む）事前申し込み当日受付

	事前申し込み	当日受付
会員（共催6学会の会員）	7,000円	9,000円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000円	7,000円
学生以外の非会員	13,000円	16,000円

### チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前申し込み	当日受付
会員（共催6学会の会員）	3,000円	4,000円
学生（会員・非会員を問わず）	2,000円	4,000円
学生以外の非会員	6,000円	8,000円

### 懇親会参加費

	事前申し込み	当日受付
一般（会員・非会員を問わず）	5,000円	6,000円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000円	4,000円

#### 【注意】

1. これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認めません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料を後日送付いたします。
2. 講演申し込みをされた方も参加申込みの手続きが必要です。
3. 市民講演会は無料です。
4. 共催6学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。

## 8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。大会会場となります大阪大学豊中キャンパスへは、阪急電車の場合、宝塚線石橋駅（特急・急行停車，梅田から 20 分位）下車，徒歩約 15 分，大阪モノレールの場合は，柴原駅（大阪空港から 2 駅目，あるいは千里中央駅から大阪空港方面へ 2 駅目）下車，徒歩約 15 分です。

宿泊に関しては，大阪空港周辺，千里中央に若干の宿泊施設はございますが，交通の便，宿泊施設の数を考えますと，JR 大阪駅，阪急梅田駅周辺の宿泊施設をご利用されることをお勧めいたします。